

チョウセンハマグリ



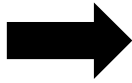
- ・ 外海に面した砂浜海岸に生息し、九十九里では貝けた網、鋤簾（じょれん）により、鴨川ではろくろ曳き（人力による底びき網）により漁獲される。
- ・ 1歳で殻長約1cm, 2歳で3~4cm(7~16g)に成長し, 3歳で5~6cm(31~54g)となり, 寿命は10年以上で10cm(250g)を超えるものも漁獲される。
- ・ 産卵期は6月下旬~9月。

資源評価

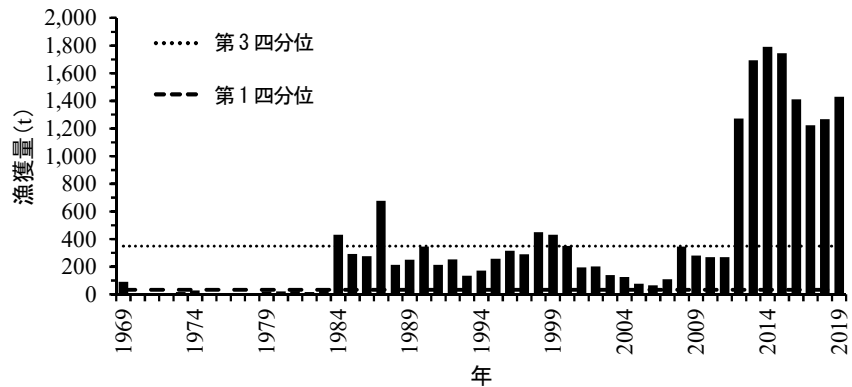
水準：高位



動向：横ばい



漁獲量



チョウセンハマグリ漁獲量の経年変化

(2006年まで千葉農林水産統計年報, 2007年から千葉県調べ)

- ・ 1969~1983年は低位で推移していたが, 1984年以降は70~660tで増減を繰り返していた。
- ・ 2012年には, 2009年生まれの卓越年級群の加入により1,000t以上に急増し, その後に生まれた貝の加入により2019年も1,000トン以上の漁獲が継続している。

注) 資源水準は、原則過去20年以上の評価指標値(漁獲量)から4分位により評価した。
資源動向は、最近5年間の評価指標の近似式から年間5%以上の増減の有無により判断した。

資源評価の判断

- ・ 資源水準及び資源動向は、漁獲量の推移で判断した。
- ・ 2019年の資源水準は高位, 最近5年間の資源動向は横ばい傾向にある。

資源管理の取り組み

- ・ 貝けた網漁業では共同操業による水揚げプール制, 操業隻数・日数の制限, 網目・漁獲サイズの制限, 禁漁期・資源保護区域の設定, 小型貝の沖出し放流など, 漁業者が自主的な資源管理に取り組んでいる。